

## 平成 16 年 3 月期 第 1 四半期業績の概況（連結）

平成 15 年 8 月 8 日

上場会社名 エンシュウ株式会社 (コード番号：6218 東証・名証 第 1 部)

(URL <http://www.enshu.co.jp/>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 寺田 一彦

責任者役職・氏名 常務取締役企画管理部統括 千賀 伸一 (TEL：(053)447-2111)

### 1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高の会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無：有・**無**

### 2. 平成 16 年 3 月期第 1 四半期業績の概況（平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 15 年 6 月 30 日）

#### (1) 売上高

(百万円未満切捨て)

	売上高	前年同期比
	百万円	%
16年3月期第1四半期	7,334	-
(参考)15年3月期	30,230	

(注) 当該四半期より四半期業績の開示を行っているため、前年同四半期実績及び増減率については、記載しておりません。なお、売上高の数値は監査法人による監査を受けておりません。

#### [ 売上高に関する補足説明 ]

当第 1 四半期におけるわが国経済は、公的資金の投入による金融不安の後退や株価の持ち直し等、一部には回復の兆しも見られたもののデフレの継続や米国経済の先行き懸念など、依然として厳しい環境にあります。

このような情勢の中で当社グループの第 1 四半期の売上高は、工作機械関連事業部門においては、システム機械の一部に出荷が第 2 四半期にずれこむものがあるものの、総体的には順調に推移しております。また、輸送機器他関連事業部門の売上は計画通りに推移しております。

#### (2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

当社を母体とするエンシュウ厚生年金基金は、確定給付企業年金法の施行に伴い、厚生年金基金の代行部分について、平成 15 年 6 月 20 日付けで厚生労働大臣より将来分支給義務免除の認可を受けました。

なお、当社は「退職給付会計に関する実務指針（中間報告）」（日本公認会計士協会・会計制度委員会報告第 13 号）第 47-2 項に定める経過措置を適用し、当該認可の日において代行部分に係る退職給付債務の消滅を認識しました。

これによる平成 16 年 3 月期の経営成績への影響については、849 百万円の特別損失を計上する一方、退職給付費用が約 550 百万円減少すると試算しております（連結・単体共）。

3. 平成16年3月期の連結業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり予想 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
中間期	16,500	350	380	7 96
通期	31,000	850	60	1 26

平成16年3月期の個別業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり予想 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
中間期	16,000	400	330	6 91
通期	30,000	800	110	2 30

（注）上記の予想は、本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後のさまざまな要因により、大きく変動する可能性があります。

[ 業績予想に関する定性的情報等 ]

「企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象」に記載の通り、当社は厚生年金基金の代行部分に係る退職給付債務の消滅を認識しました。これに伴う退職給付費用の減少及び特別損失の計上、並びに最近の業績の動向等を踏まえ、前回（平成15年5月22日）に発表した連結・個別の中間期並びに通期の業績予想を、上記の内容に修正いたします。

（参考）前回（平成15年5月22日）発表予想

連結業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり予想 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
中間期	16,000	200	50	1 05
通期	30,500	400	200	4 19

個別業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり予想 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
中間期	15,400	300	130	2 72
通期	29,500	400	170	3 56

以 上